

資料 3 グループ討論参考資料

火山防災協議会等連絡・連携会議(第4回)

グループ討論について

<目的>

- グループ討論は、何らかの答えや結論を求めるものではなく、火山防災の課題や不十分な点などを、実務を担当する皆様が意見交換し、解決策や新たな気づきを得ることで、火山防災の認識を深めることを目的としています。

<グループ討論の背景>

- 国は、具体的な避難計画策定支援を目的に、「噴火時等の具体的で実践的な避難計画策定の手引(平成24年3月)」(以下、手引)を作成し、火山地域で活用していただいています。
- 一方で、御嶽山や口永良部島、箱根山などで噴火が発生し、登山者や旅行者への対応や風評被害への対応、全島避難など、新たな課題も明らかとなってきています。



これらの背景を踏まえて、手引の不足している部分や噴火対応事例から出る課題や改善策などを討論ができるよう、テーマを設定しました。

<グループ討論のテーマ>

- 以下の3つのテーマに分かれて討論していただきます。

テーマⅠ：住民避難・風評被害への対応

テーマⅡ：島外避難への対応

テーマⅢ：登山者・旅行者への対応

<グループ分けについて>

- 事前に参加者へ送付した、「参加者事前アンケート」での希望をもとに、班を構成しています。
- 様々な立場の人と話し合いができるよう、都道府県、市町村、国等の機関、火山専門家などを均等に班に割り振っています。

<具体的な討論内容について>

- ・テーマについて、手引や噴火対応事例などから、「課題となる点」「問題点」「配慮が必要な点」「改善が必要な点」等、自由に意見交換をしていただきます。
- ・どの点に焦点を当てて討論するか、班で討論の項目(1~2題)について検討しましょう。

テーマⅠ：住民避難・風評被害への対応

<具体的な討論の項目例>

- 避難対象地域への一時立入
- 避難解除・レベル引下げ時の対応
- 入山規制と警戒区域の設定
- 風評被害に配慮した情報発信
- 安心情報など自治体の情報発信体制
- 火山噴火緊急減災対策砂防計画や降灰後の土石流対策と、住民避難との連携
- その他

テーマⅡ：島外避難への対応

<具体的な討論の項目例>

- 島内避難から島外避難への対応
- 一時帰島
- 島外避難先の特定
- ライフラインの障害による島外避難の必要性
- その他

テーマⅢ：登山者・旅行者への対応

<具体的な討論の項目例>

- 登山者や旅行者の把握
- 登山者や旅行者への普及啓発
- 登山者や旅行者への情報提供手段
- 山岳ガイド、観光関係団体、旅行業者等との協力体制
- その他

グループ討論結果のとりまとめイメージ

第1班

テーマ1: 住民避難・風評被害への対応

模造紙のイメージ

地域が抱える課題・問題点

■ 安心情報など自治体の情報発信体制

広域の情報発信手段がない

周辺市町村で情報発信にバラツキが出ないか

安心情報が何かわからない

課題の改善策、必要な対策

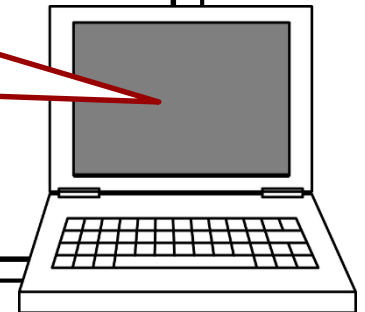
ホームページやSNSを活用

報道機関との連携

協議会としての情報発信

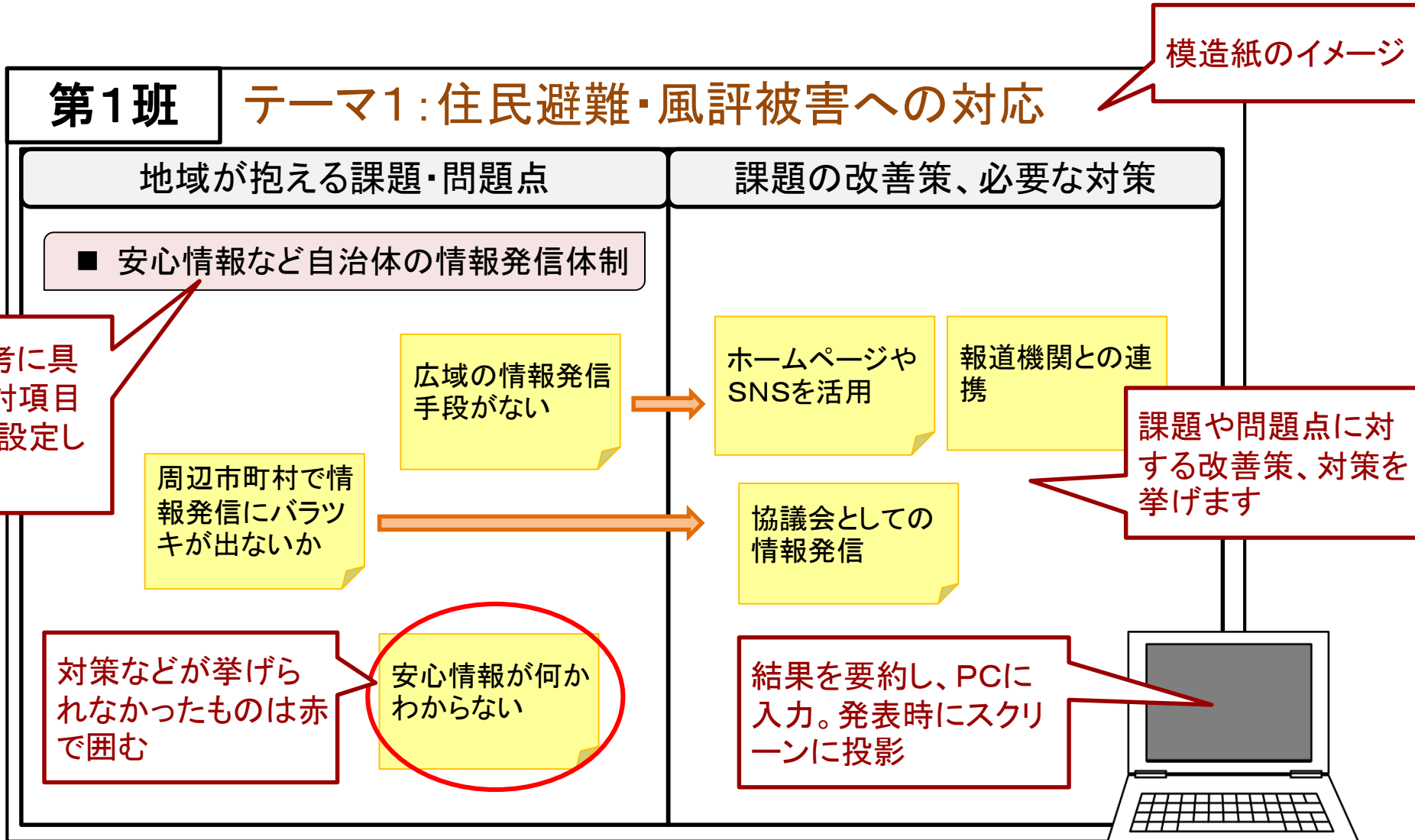
結果を要約し、PCに入力。発表時にスクリーンに投影

課題や問題点に対する改善策、対策を挙げます



例示を参考に具体的な検討項目を1~2題設定します

対策などが挙げられなかったものは赤で囲む



タイムテーブル

時 間		内 容
13:15 ～13:20	(5分)	グループ討論の進め方説明
13:20 ～13:35	(15分)	班内で自己紹介 →所属や火山防災の取組等、一人1分程度
13:35 ～13:45	(10分)	討論項目の選定と発表 →決まったら、どの項目か、司会に伝える
13:45 ～14:35	(50分)	討論項目の課題や問題点、改善策や必要な対策について討論
14:35 ～14:45	(10分)	まとめ